

令和2年度（2020年度）

「地域学校協働活動」 実践事例集

地域全体で子どもの学びや成長を支えるために



北海道教育委員会

令和2年度（2020年度）「地域学校協働活動」実践事例集 もくじ

■事例集の発行にあたって

■各市町村における実践事例

01 日高町 （日高管内） 学校支援活動

02 更別村 （十勝管内） 学校支援活動

03 釧路町 （釧路管内） 学校支援活動

04 島牧村 （後志管内） 地域課題解決学習

05 むかわ町 （胆振管内） 地域課題解決学習

06 松前町 （渡島管内） 地域人材育成

07 中川町 （上川管内） 子ども未来塾

08 斜里町 （林-ツ管内） 放課後子供教室／子ども未来塾

09 長沼町 （空知管内） 放課後子供教室

10 豊富町 （宗谷管内） 放課後子供教室



事例集の発行にあたって

社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0 時代」の到来や、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」といった、急激に変化する時代の中で、児童生徒については、自分の良さや可能性を認識しながら、他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることが求められております。

このような中、令和3年1月26日に発表された中央教育審議会答申では、従来の日本型学校教育を発展させた新しい時代の学校教育を構想し、その姿を「令和の日本型学校教育」としてまとめており、その中では、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現のための改革の方向性として、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たし、相互に連携・協働して、地域全体で子どもたちの成長を支えていく環境を整備することが示されています。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症への対応として、社会全体が新しい生活様式で様々な活動を行うこととなり、地域と学校が連携・協働した取組についても、各地域において試行錯誤しながら工夫して実施され、これまで以上に学校が地域の力を必要とする場面の多い年度となりました。

道教委では、コミュニティ・スクールとともに、「地域学校協働活動」がより一層効果的に推進され、児童生徒はもとより、各地域の活性化に資することを願い、道内各地の特色を生かした取組を実践事例集として、取りまとめました。

各市町村教育委員会や地域学校協働活動関係者の皆様におかれましては、本事例集の取組を、地域の実情にあった内容に再構築するなど、御活用いただければ幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたりまして、関係市町村教育委員会の皆様の多大なる御協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

北海道教育庁学校教育局義務教育課地域連携担当課長 濱 中 昌 志

柏葉の子どもは、柏葉の地域が育てる取組

日高町 日高管内

【活動名】

柏葉地域学校協働活動

【関係する学校】

門別小学校・門別中学校



スケート授業補助の様子

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
◎				

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1	1	5	H30	無
その他の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		門別小・中	H30.8	15	214	12

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

■日高町では、平成 30 年度から 2 校合同の学校運営協議会を設置し、地域が事務局やコーディネーター役を担い、取組を推進している。

■熟議を通して、地域と学校が育てたい子ども像を共有し、子どもたちの実態を把握した上で、現状に合った取組内容を検討している。

2 特徴的な活動内容

- 体育（スケート）の活動補助、音楽（和楽器）や道徳（目標設定）の外部講師など、地域人材による小・中学校の授業支援を進めている。
- 活動内容を知らせる通信を作成・配布し、広報だけでなく新たな地域人材の発掘に努め、組織体制の充実を図っている。
- 今年度はコロナ禍の中でも、会議題を焦点化して短時間に収めたり、書面送付で情報を共有したりと、組織機能を弱めないよう工夫して進めている。



コーディネーター：渋谷 裕幸 氏

3 事業の成果

- 地域住民と教職員が語り合うことで、地域が学校を知るきっかけとなっており、学校が抱える困難や課題に対する理解・共感が進んだ。
- 地域住民にとって学校が身近な存在となったことで、参観日や学校行事への参加者数が増加し、学校との一体感が増した。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

■ コーディネーターを中心に地域人材を発掘・育成し、学校とのマッチングを促進

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■ 地域・学校の負担増にならないよう、当面の活動内容は「学校支援」に焦点化

地域の特色を生かした活動

■ 小・中学校の新入生に記念品を贈呈し、地域全体で祝福する気運を醸成

子どもを真ん中にした地域ぐるみの学校支援の取組

更別村 十勝管内

【活動名】

みんなの学校応援団

【関係する学校】

更別小・上更別小・更別中央中



「さらべつほーぷ」によるライフスキル授業の様子

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
◎		○		

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1	—	39団体14個人	H31	無
その他の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1	—	39団体14個人	H31	無
子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
放課後子供教室		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		更別小 H31.4.1		10	138	11
		上更別小 H31.4.1		10	19	5
		更別中央中 H31.4.1		10	87	6

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

■更別村では学校運営協議会の設置に合わせて、これまで地域の方々が行っていた学校支援活動を組織化し、地域が主体的に参画できる体制として「みんなの学校応援団」を設立した。

■「みんなの学校応援団」に登録している地域人材による学校支援活動に加え、今後は学校運営協議会やCS委員会での熟議を経て、決定された「目指す子どもの姿」の実現に向けた取組を計画している。

2 特徴的な活動内容

■応援団に登録している方々が学校の求めに応じて学校支援活動を行っている。医師や保健師等からなる団体「さらべつほーぷ」は、子どもの健全な自尊心を高めることをねらいとした、ライフスキルの授業を小・中学校で実施している。また、地域住民が裁縫等の学習支援に深く関わっており、子どもの学びの充実につながっている。

■中学校の職場体験では、コロナ対策として例年よりも多い事業所の協力が必要となったため、村商工会が各事業所の受入れを調整し、生徒が希望した25事業所において、生徒31名を分散して実施することができた。



CSコーディネーター 宝輪 祐子 氏

3 事業の成果

■学校からは、「地域人材による学習支援により、子どもはできる喜びを味わうことができる」との声があり、支援により子どもの学びが充実している。

■支援をした方からの、「頑張ったね」などの声かけにより、子どもの自己肯定感が高まり、子どもからの感謝の言葉は、支援をする方の励みとなっている。

■CSの意義や目的を理解してもらうことにより個人や各事業所の新規応援団登録につながり、地域の多様な人材が子どもに関わる機会が増え、地域全体で子どもを育てる機運が醸成されてきている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

■退職教員をコーディネーターとして配置し、学校と地域をつなぐ役割を担当

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■活動を地域に理解してもらうために通信を発行し、積極的に情報を発信

地域の特色を生かした活動

■医師や保健師など、地域の多様な人材とつながることで、充実した学校支援が可能

こんな活動です

地域の資源や特色を生かした地域学校協働活動

釧路町 釧路管内

【活動名】

釧路町地域学校協働活動推進委員会

【関係する学校】

町内全ての小・中学校



地域ボランティアが関わった体力測定の様子

行っている活動の区分						
学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室		
○						○
学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		4	—	1,133	H20	有
その他の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		—	—	—	H27	有
子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1	13	40	H19	有
		1	2	25	H26	
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
富原小学校 別保小学校		有	有			
コミュニティ・スクール	○	設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		別保小	H31.4	15	185	12
		別保中	H31.4		72	5
		遠矢小	H31.4	18	166	10
		遠矢中	H31.4		101	5
		昆布森小	H31.4	17	21	4
		知方学小	H31.4		19	4
		昆布森中	H31.4		18	4
		富原小	R2.4	12	444	24
		富原中	R2.4		281	11

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

- 釧路町では、地域学校協働本部を開設当初から、4つの中学校区にそれぞれ、地域学校協働活動推進員を配置し、それぞれが特色を出して学校と地域が連携した活動を実施している。
- 全ての小・中学校区において、完全導入したコミュニティ・スクールでは、地域学校協働活動推進員が学校運営協議会委員に加わることで、地域人材を授業で活用することを提案している。

2 特徴的な活動内容

- 特色ある体験活動の推進のため、美術などの授業で町内陶芸クラブ会員が講師となり「陶芸教室」を行い、学びの成果の循環を図っている。
- 学校運営協議会で熟議を実施する中で、「キャリア教育の充実が必要である」ことについて、学校と地域の共通認識が図られ、様々な職種の人から仕事に対する想いを聞く「職業人講話」を実施した。
- 今年度は、コロナ禍により各教科の授業時間数確保のため、例年より学習支援の回数は減っているが、実施の際には、講演は体育館など広い会場を使用するなど予防対策をとっている。



地域学校協働活動推進員の皆さん

3 事業の成果

- 中学校区ごとに学校運営協議会を設置し、9年間で目指す子ども像を共有できたことで、小中の連携が深まり、この目標にそった地域学校協働活動を展開できている。
- 地域学校協働本部事業や放課後子供教室の活動を通じて、子どもの成長に関わる機運が高まり、子ども食堂開設や不登校児童生徒のいる家庭への声掛けなどを自発的に始める地域住民が現れている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 地域学校協働活動推進員と町教委社会教育主事が常に情報を共有し、地域と学校それぞれにメリットのある取組を推進

活動の継続、発展、推進に向けての取組

- 小中学校の全教員に地域連携学習案内「まちせんナビ」を配付して、授業での地域人材等の活用を促進

地域の特色を生かした活動

- 主要産業や自然環境など大きく異なる4地区で、特色を生かす人材と連携した活動を実施

こんな活動です

子どもたちが地域で学び、活動する体制づくり

島牧村 後志管内

【活動名】

地域全体で子どもを守り育てる活動

【関係する学校】

島牧中学校



地域の被災経験について話を聞く中学生

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
	◎	○		○

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		2	2	15	H25	無
その他の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		2	3	20	H27	無
子ども未来塾		統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		2	3	10	H27	無
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
若者総合スポーツセンター		有		設置なし		
設置日		委員数		児童生徒数	学級数	
コミュニティ・スクール	○	島牧小	H30.11.1	8	43	8
		島牧中	H30.11.1		17	3

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

■総合的な学習の時間を中心に、子どもたちが、これまでに地域で発生した地震や津波などの自然災害について学び、今後の防災に関する取組を地域住民とともに考えている。

■子どもたちが地域活動にボランティアスタッフとして参加し、地域住民との関わりや地域の一員としての役割を体験的に学習することで、自己肯定感や自己有用感を高め、地域で活躍する人材の育成を進めている。

2 特徴的な活動内容

■コロナ対策を講じながら、子どもたちが、北海道南西沖地震の被災経験を地域住民から聞き取る活動や、ハザードマップを活用したフィールドワークを実施している。また、「一日防災学校」では、学習成果を発表したり、地域住民とともに防災に対する考えを交流したりしている。

■中学生・高校生が、ポッチャ大会などのスポーツ事業や社会教育事業などにボランティアスタッフとして参加することで、幅広い年代と関わりながら地域の良さを見つめ直し、地域との関係を深める大切さを学んでいる。

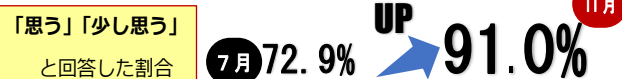


中学生・高校生ボランティアに趣旨を説明するコーディネーター

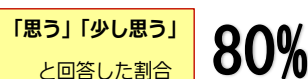
3 事業の成果

■アンケート調査では、児童生徒の「防災」に対する意識や、地域行事への参画意識を把握し、取組の成果を得るとともに、今後の課題を明らかにすることができた。

災害が起きた時に、安全に避難することができる。



今後も、様々な年代と関わる活動にボランティアで参加したい。



「地域学校協働活動」のポイント

コーディネート機能の充実

■学校と教育委員会が連携し、地域人材を活用した教育活動の実施体制を確立

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■子どもたちと地域住民が関わる機会を大切にし、主体的・対話的な学びを行う機会を構築

地域の特色を生かした活動

■学校運営協議会を核としながら、無理をせず、できることから取り組むスタイルを確立

こんな活動です

地域と学校が一体となり、町の課題解決を目指す取組

むかわ町 胆振管内

【活動名】

むかわ町地域学校協働活動

【関係する学校】

鶺川中央小・宮戸小・穂別小・鶺川中・穂別中・鶺川高・穂別高



鶺川高校「むかわ学」むかわの自然(ゴカイ調査)の様子

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
○	◎	○	○	○

地域学校協働活動に係る基本データ	学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			-	3	-	H27	有
	その他の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
			-	1	2	H27	有
	子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			-	5	12	H27	有
	放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			-	2	21	H27	有
			実施場所	学習支援	児童クラブとの連携		
	コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
鶺川中央小			H30.4.1	13	201	10	
宮戸小			H30.4.1		19	3	
鶺川中			H30.4.1	12	124	6	
穂別小			H30.4.1		95	9	
穂別中			H30.4.1	43	5		

1 活動の概要

■むかわ町は、平成29年度から鶺川高校が学校設定科目として「むかわ学」を導入し、地域全体を学びのキャンパスとし、まちに誇りと愛着をもち、次代を担う人材を育成する学習を展開してきた。

■令和2年度より町内全ての小・中・高等学校で「むかわ学」を実施しており、各年代の学びのつながりを大切にしたカリキュラム編成に向けて取組を進めている。

2 特徴的な活動内容

■町教委職員がコーディネーター役を担い、学校や地域の教育課題の解決に向けて地域学校協働活動の推進に努めている。また、町の行政職員がスポーツ文化活動に携わり、子どもたちの教育環境の充実に寄与している。

■「みんなが先生！どこでも教室」として、知識や経験、技能等を有する町民が地域社会の指導者として登録し、学校の授業等に講師として派遣し、外部人材の活用を図っている。

■コロナ禍による臨時休業に伴い、子どもたちが自宅でも「むかわ学」の理解を深められるよう、まちの産業や歴史等を学べる「動画」を作成した。



鶺川中学校「むかわ学」の様子

3 事業の成果

【地域人材を積極的に活用している学校数】

- ・小学校 3 / 3校
- ・中学校 2 / 2校
- ・高等学校 2 / 2校

町内全ての学校が活用 (100%)

■地域の社会教育団体や企業による手厚い支援が児童生徒の教育活動に潤いを与え、地域全体で子どもの成長を支える気運が高まっている。

■「むかわ学」の学習成果を発信することを目的に、町政への提言発表会を行い、地域の課題を共に考える機会を創出している。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実	■町教委社会教育職員が地域と学校とのパイプ役となり、活動を通して地域の人材を育成し、取組を促進
活動の継続、発展、推進に向けての取組	■住民が児童生徒との双方向の関わりの中で、学びを実践につなげ、充実感や達成感を得られるよう工夫
地域の特色を生かした活動	■まちの自然や第一次産業、恐竜化石等を活かした体験的な教育活動を展開

地域の伝統文化と人材を生かして郷土愛を育む取組

松前町 渡島管内

【活動名】

松前町のふるさと学習

【関係する学校】

松城小・大島小・小島小・松前中・松前高



松前学で「紙芝居」を発表する松前高校の生徒

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
○		◎		

地域学校協働活動に係る基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
		○	—	17	11	H24	有
	その他の教育支援活動		推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	
	子ども未来塾		推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
	放課後子供教室		推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携		
	コミュニティ・スクール		設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		○	小中学校	H30.4.1	20	254	19
			高等学校	R3.4.1 (予定)	15	52	3

1 活動の概要

- 松前町では、平成30年度に小・中学校4校がコミュニティ・スクールの設置し、令和3年度には高等学校で設置を予定している。
- 小・中学校では小中一貫型学校である「松前学園」において、松前高校では「松前学」の授業において、それぞれ地域人材を活用し、ふるさとについて知り、郷土・松前に誇りをもち、松前を愛する子どもの育成を目指している。

2 特徴的な活動内容

- 児童生徒が松前のよさを実感できるよう、松前神楽をはじめとした伝統芸能、桜や郷土料理等について、ソーシャルディスタンスの確保やこまめな消毒など感染症対策を行った上で、コロナ禍にあっても可能な限り体験を重視した取組を行っている。
- 松前高校では松前学の一環として、さくらまつり期間中の「観光ボランティアガイド」や、町の魅力を詰め込んだ「松前ガイドブック」の作成を通じて、地域づくりに参画している。また、地域の伝承をまとめた紙芝居を作成し、小学生へ伝承するなど、小・中学校との連携が図られている。



CS委員を講師とした「昔の道具調べ」

3 事業の成果

- 地域人材を活用して取り組んでいる書道教育では、着実に成果が現れ、全道・全国での活躍が高く評価されている。
- 令和2年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙の質問項目、「今住んでいる地域の行事に参加しますか」、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」では、肯定的な回答の割合がともに全道平均を上回っており、地域に愛着や主体性をもつ人材の育成につながっている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- ふるさと学習や松前学では、各学校、学校運営協議会や教育委員会が連携し、内容や日程を調整

活動の継続、発展、推進に向けての取組

- 松前町教育指針条例の目的に、「先人への感謝の心と郷土愛を携えた有為な人材を輩出する」と規定し推進

地域の特色を生かした活動

- 道内でも屈指の歴史や伝統、町出身の著名な書家を由来とした特徴的な学びを、地域人材の協力を得て推進

地域の大人が研鑽を積み、子どもたちに還元する取組

中川町 上川管内

【活動名】

なかがわ塾

【関係する学校】

中川中学校



なかがわ塾の様子

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
○	○	○	◎	○

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		1	-	11	H16	無
その他の教育支援活動		統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		-	-	22.5	H23	無
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		1	-	38	H29	無
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
		生涯学習センター	○	○		
		設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
コミュニティ・スクール	○	中央小 H30.4.1	9	63	9	
		中川中 H30.4.1	9	18	4	

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

■中川町では、平成 23 年度に地域住民からの要望を受け、教育委員会が公設塾を設置した。

■地域・学校・教育委員会が一体となって「未来の中川、北海道、日本を支える地域の子どもたちを、地域の力で育てよう！」という共通認識のもと、地域住民の力と熱意を活用し、夜間の中学校教室を活用した少人数指導による苦手教科克服に向けた学習支援を行っている。

2 特徴的な活動内容

- 中学校を会場とすることにより、部活動終了後の移動をなくすとともに、参加費を徴収しないなど、生徒の負担を減らしている。
- 生徒数が少ないことを生かした少人数指導により、個々の習熟の程度に応じ、個別指導に近い形で細やかな指導を行っている。
- 講師・中学校・教育委員会からなる「なかがわ塾運営委員会」を設置し、生徒一人一人の学校や塾での学習状況を共有し、お互いの指導に役立てることにより、教育活動の一助となっている。
- コロナ禍においても、これまでの実績により、保護者や学校の理解を得て、休校が明けてすぐに活動を再開できた。



なかがわ塾塾長 大西 英一 氏

3 事業の成果

- 中学校在籍生徒の約 7 割が例年入塾しており、学びのセーフティネットとしての役割も担っている。また、進学だけでなく、将来なりたい職業などにも具体的な目標をもつ子どもが増加した。
- 講師の確保が課題であるが、中川町の移住体験メニューに教育ボランティア活動として、「なかがわ塾講師」を設定した結果、事業開始からこれまでに 3 名の方の協力があり、人材確保につながった。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

■教育委員会職員がコーディネーター機能を担い、講師の活動を支援

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■担当学年を固定することや都合に合わせた参加など、講師の負担軽減を図る工夫

地域の特色を生かした活動

■町の政策である、「移住体験事業」と本事業の連携による人材の確保

学校施設や地域人材を活用した安全・安心な学びの場

斜里町 オホーツク管内

【活動名】

放課後「地域みらい塾」

【関係する学校】

知床ウトロ学校（義務教育学校）



学習会の様子

行っている活動の区分				
学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
○	○	○	◎	◎

地域学校協働活動に係る基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		○	1	-	15	H29.4.1
	その他の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	○	1	-	3	R1.7.10	無
	子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
	○	1	-	2	R1.7.10	無
	放課後子供教室	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
○		1	-	18	H30.10.23	無
		実施場所		学習支援	児童クラブとの連携	
		知床ウトロ学校		○	-	
		設置日		委員数	児童生徒数	学級数
		H29.4.1		7	78	11
	コミュニティ・スクール	○				

1 活動の概要

■ 全校児童生徒を対象として、知床ウトロ学校の図書室を会場に、毎週水曜日 14:30 から 15:30 まで、子どもたちの自主性や学び合いを大切にした学習会を行っている。

■ 地域コーディネーターが中心となり、地域のスクールサポーター（学校支援ボランティア）の協力を得て学習サポートを行っている。また、学習会とは別に、地域人材を活用した体験講座を年に数回開催している。

2 特徴的な活動内容

- 宿題など学校からの課題を終えた後の活動として、自由に取り組める学習プリントや部首カルタを本塾で用意するなど、子どもたちが自主的に学びを進めることができる環境を整えている。コロナ禍においてもマスク着用や換気、アクリル板設置等の対策を行い、学習会を実施している。
- 地域住民や団体・企業と連携し、お菓子づくりやプログラミング、防災などについての体験講座を実施している。地域の人的資源を積極的に活用し各講師の専門性を生かした講座を実施することで、ふだん体験することのできない豊かな学びの機会を提供している。



企業の方が講師を務めたプログラミング教室

3 事業の成果

- 毎週、学習会を開催し、自主的に学習に取り組むことができる環境を整えていることが、子どもたちの学習習慣の定着につながっている。
- 学習会のほか、地域資源を活用した体験講座を実施することで、多様な学びの機会や子どもたちと地域住民等が関わる場を創出することができた。
- 子どもたちのことをよく知る地域コーディネーターや学校支援ボランティアに見守られながら校内の図書室にて実施される本塾は、児童生徒にとって安全・安心な居場所となっている。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

■ 地域コーディネーターが、学校や地域の学校支援ボランティアとの連絡・調整を円滑に実施

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■ 地域コーディネーター自らが本取組を提案し学校の理解を得るとともに、通信にて活動の様子を外部に発信

地域の特色を生かした活動

■ 地域住民や団体、企業とのネットワークを構築し、地域の人的・物的資源を活用して多様な講座を実施

こんな活動です

地域の大人が力を合わせて、子どもたちを共に育てる取組

長沼町 空知管内

【活動名】

長沼町放課後子供教室

【関係する学校】

長沼小学校



専門教室「百人一首」の様子

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
		○	○	◎

学校支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		-	1	60	H20	有
その他の教育支援活動	○	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
		-	1	60	H20	有
子ども未来塾	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		-	-	-	H20	有
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
			2	10	H22	有
		実施場所 長沼小他	学習支援 有	児童クラブとの連携 連携型		
コミュニティ・スクール	○	設置日	委員数	児童生徒数	学級数	
		長沼小 R2.4.1	10	470	20	
		長沼中 R2.4.1		249	11	

地域学校協働活動に係る基本データ

1 活動の概要

■長沼町では、平成22年度から、地域人材を活用した「長沼町放課後子供教室」を実施している。2名の地域学校協働活動推進員がコーディネーター役を担い、地域人材との連携を図っている。

■令和2年度に「長沼町地域学校協働活動本部」を設置し、それまで個別の事業として実施していた「放課後子供教室」「学校支援」「土曜日の学習支援活動」を地域学校協働活動として包括して所管し、学校運営協議会と一体となって取組を推進している。

2 特徴的な活動内容

- 「文化芸術コース」「スポーツコース」をそれぞれ「低学年向け」及び「高学年向け」に分けた一般教室と、「百人一首」や「吹奏楽」を行う専門教室を開設している。
- 教育委員会で「地域学校協働活動ボランティア人材バンク」を作成し活用している。
- コロナ禍においても、参加者やボランティアに対し手指消毒を徹底するとともに、会場の換気や使用した備品の消毒を行うなど、子どもたちの学習・体験活動を止めることが無いよう、安全な事業運営・実施に努めている。



地域学校協働活動推進員 堀 靖孝 氏

3 事業の成果

- 興味・関心に合わせてコースを選べるようにしたり、発達段階に応じて「低学年向け」と「高学年向け」に分けたりしたことにより取組の充実を図ることができた。
- これまで「放課後子供教室」や「学校支援」等、事業ごとに登録していた講師やボランティアを、「地域学校協働活動ボランティア人材バンク」としてまとめたことで、各種事業に新たなボランティアが増えるなど円滑な運営が可能となった。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

■統括コーディネーターが中心となり、地域ボランティアの参加を調整し取組を推進

活動の継続、発展、推進に向けての取組

■ボランティアに入っただけの方の得意分野に応じた内容を、企画に反映

地域の特色を生かした活動

■地域住民が、趣味や生涯学習から得た学びの成果をいかし、講師やボランティアを担当

こんな
活動です

地域資源を活用した体験活動等を提供する取組

豊富町 宗谷管内

【活動名】

豊富町放課後子供教室チャレンジくらぶ

【関係する学校】

豊富小学校



ハロウィンの飾りを制作する参加者

行っている活動の区分

学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成	子ども未来塾	放課後子供教室
				◎

地域学校協働活動に係る基本データ	学校支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
	その他の教育支援活動	統括的な推進員数	推進員数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助
子ども未来塾	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助	
放課後子供教室	○	統括的な推進員数	推進員数	子どもの平均参加人数	開始年度	国庫補助
		2	5	10	H19	有
	実施場所	学習支援	児童クラブとの連携			
主に小学校	有	無				
設置日	委員数	児童生徒数	学級数			
コミュニティ・スクール	○	H29.4.24 豊富小中	20	246	16	
		H29.4.24 兜沼小中	20	8	3	

1 活動の概要

- 豊富町では、平成 19 年度から豊富小学校の児童を対象に放課後子供教室を開始しており、今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため学年を分けて、それぞれ毎月 3 回程度実施している。
- 町教委職員のアドバイザーと安全管理員が活動プログラムの企画、教室の運営を担当し、地域の教育資源、人材を活用した季節のイベントを感じる体験活動や学習支援を行っている。

2 特徴的な活動内容

- 子どもたちの「学びたい・体験したい」といった欲求を満たすために様々な地域資源を活用し、プログラムを企画、展開している。
- 季節のイベントを積極的に取り入れ、夏には縁日、秋にはハロウィン、冬には雪遊びなど、体を動かす楽しさを味わうことができる体験や交流活動を提供している。
- 毎月お便りを発行し、月間予定や各回の活動内容を掲載し、各自の放課後の都合に合わせて参加できるようにしている。また、保護者に向けて、感染症対策等の運営体制について明記し、安全で楽しい教室づくりに努めている。



アドバイザー 佐藤 淳子 氏

3 事業の成果

- 地域資源、地域人材のスキル等を活用することで、学校教育では取り組むことが難しい体験活動や、地域の人々との交流ができ、子どもたちの学びがより豊かになった。
- 新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底を図り、安心・安全な教室の運営、子どもたちの学びを止めない支援体制づくりのために、様々な機関との情報交換、情報共有をする機会が増え、学校と地域の連携がより強化された。

「地域学校協働活動」のポイント

コーディネーター機能の充実

- 教育委員会に所属するコーディネーター、アドバイザーが地域と学校の連絡・調整を担当

活動の継続、発展、推進に向けての取組

- コロナ禍で学校の授業日課、下校時間の制限がある中で臨機応変に対応する教室運営

地域の特色を生かした活動

- 技術や知識を持つ地域住民や民間団体、NPO 法人等を有効に活用したプログラムの開発

【過去の実践事例集について】

- ◇ 北海道教育委員会では、平成 26 年度（2014 年度）からの実践事例集をホームページに掲載しています。ぜひ御活用ください。

URL : <http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/kyoikushien24.htm>



平成 26 年度（2014 年度）



平成 27 年度（2015 年度）



平成 28 年度（2016 年度）



平成 29 年度（2017 年度）



平成 30 年度（2018 年度）



令和元年度（2019 年度）

令和2年度（2020年度）「地域学校協働活動」実践事例

発行 令和3年（2021年）3月
北海道教育委員会

問合せ 〒060-8544
札幌市中央区北3条西7丁目
北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援係
TEL 011-204-5753
FAX 011-232-1072
URL <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gky/kcs/index2.htm>

